

教科	国語	科目	現代文B	学年	3
担当者	千葉充・岸祐次			単位数	2
使用教科書	「改訂版 現代文B」(筑摩書房)				
使用教材	新訂「国語総覧」(京都書房)、「新現代文単語」(いっずな書店)、「思考の論理スイッチ標準編」(浜島書店)「キーワードの卵」(尚文出版)				
教科・科目の指導目標	1・2年生で学んだ「現代文」のテーマを深めるとともに、より高度な評論の読解や考察を行う。大学入試問題に必須の「建築論」「歴史論」などのテーマ別の評論の理解を深める。また小説の学習の三年間の総まとめとして「舞姫」を読みながら、近代社会の成立という「評論」分野の最大のテーマについて理解できるようにする。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	「建築論ノート」松山巖 「舞姫」森鷗外	段落ごとに、その主旨をとらえる。 文章の展開と構成を正確にとらえ、筆者の主張を読み取る。 「都市論」「建築論」などの近代化論と結びつけてその本質を理解する。 森鷗外とその作品について理解する。 物語の展開や登場人物の言動から、事態の推移を把握する。	14
6月5月7月	1学期期末考査	「舞姫」森鷗外 「物語と歴史のあいだ」野家啓一	主人公の内面の人間的弱さを読み取り、理解する。 作品の背景にある日本の近代化を理解する。 作品の背景にある日本の近代化を理解する。 「歴史論」の本質を理解する。小林秀雄の「もののあはれ」と比較して読む。	12
7月5月10月	2学期中間考査	ベルエポック 「隠れん坊の精神史」藤田省三 「権力とは何か」杉田敦	会話、好意、しぐさの中に、登場人物の心情の機微を探る。 筆者独特の表現や修辞を読み取り、その効果について考える。 「遊び論」「子供論」の本質を理解し、その他の同じテーマのバリエーションの論理を理解する。 ヨーロッパ近代の思想(ホブズ、ルソーなど)について学びながら、国家権力と個人の在り方を考察しする。 入試問題の中の「権力論」や「公的なあり方」について触れ、現代文の専門用語についておさらいする。	18
10月5月12月	2学期期末考査	大学入学共通テスト過去問演習(本試) 大学入学共通テスト過去問演習(本試)	共通テストの形式に慣れる。 問題演習・解説を通じて、弱点を補強する。	14
12月5月3月	学年末考査	大学入学共通テスト過去問演習(本試) 大学入学共通テスト過去問演習(本試)	弱点の克服 大学入学共通テスト過去問題演習と解説 共通テスト過去問題演習／本試験の解説	20

評価の
観点・方法

定期考査、授業への自発的・積極的取り組み、出席状況

教科	国語	科目	古典B(講読)	学年	3
担当者	川田 裕美子			単位数	2
使用教科書	「新精選古典B 古文編・漢文編」(明治書院)				
使用教材	「体系漢文」(数研出版)「これでわかる明快古典文法」(いっずな書店)「国語総覧」(京都書房) 核心古文単語351(尚文出版)源氏物語で理解する敬語・識別マスターワーク(数研出版)「改訂版大学入試共通テスト古典」(いっずな書店)「和歌の力がつくノート」(尚文出版社)				
教科・科目の指導目標	既習事項の定着をはかりながら、難関大学入試にも対応できる学力を養成する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	和泉式部日記 夢よりもはかなき世の中を 蜻蛉日記 町の小路の女	重要敬語を習得して主体を特定し、文意を読解する。 用言・助動詞・助詞等を習得して、文意を読解し入試問題が解けるようにする。	14
5月		蜻蛉日記 泔坏の水	用言・助動詞・助詞等を習得して、文意を読解し入試問題が解けるようにする。	
5月		史記 廉頗・藺相如	漢字の意味・基本句形を習得して、漢文読解力を確実につけ、共通テスト・私文入試問題が解けるようにする。	
5月		史記 廉頗・藺相如	漢字の意味・基本句形を習得して、漢文読解力を確実につけ、共通テスト・私文入試問題が解けるようにする。	
6月7月	1学期期末考査	沓冠折句の歌 おもて歌のこと	漢字の意味・基本句形を習得して、漢文読解力を確実につけ、共通テスト・私文入試問題が解けるようにする。 和歌の技法に注意して、評論文を論理的に読む。	12
7月		史記 荊軻	漢字の意味・基本句形を習得して、漢文読解力を確実につけ、共通テスト・私文入試問題が解けるようにする。	
7月		史記 韓信	漢字の意味・基本句形を習得して、漢文読解力を確実につけ、共通テスト・私文入試問題が解けるようにする。	
7月8月10月	2学期中間考査	大鏡 道真の左遷 大鏡 鶯宿梅	重要敬語を習得して主体を特定し、文意を読解する。 用言・助動詞・助詞等を習得して、文意を読解し入試問題が解けるようにする。	18
8月		増鏡	用言・助動詞・助詞等を習得して、文意を読解し共通テスト・私文国文入試問題が解けるようにする。	
10月		思想 韓非子	漢字の意味・基本句形を習得して、漢文読解力を確実につけ、共通テスト・私文国文入試問題が解けるようにする。	
10月		史伝 三顧之礼	漢字の意味・基本句形を習得して、漢文読解力を確実につけ、共通テスト・私文国文入試問題が解けるようにする。	
10月12月	2学期期末考査	大学入学共通テスト過去問演習	本試験の問題演習・解説を通じて、弱点を補強する。	14
12月		大学入学共通テスト過去問演習	本試験の問題演習・解説を通じて、弱点を補強する。	
12月3月	学年末考査	大学入学共通テスト過去問演習	本試験の問題演習・解説を通じて、弱点を補強する。	20
3月		大学入学共通テスト過去問演習	本試験の問題演習・解説を通じて、弱点を補強する。	

評価の
観点・方法

定期考査、授業への自発的・積極的取り組み、出席状況

教科	国語	科目	古典B(演習)	学年	3
担当者	岸 祐次			単位数	2
使用教科書	「古典B」古文編・漢文編(明治書院)				
使用教材	「新精選古典B 古文編・漢文編」(明治書院)「体系漢文」(数研出版)「これでわかる明快古典文法」(いっずな書店)「国語総覧」(京都書房) 核心古文単語351(尚文出版) 源氏物語で理解する敬語・識別マスターワーク(数研出版)「改訂版大学入試共通テスト古典」(いっずな書店)「和歌の力がつくノート」(尚文出版社)				
教科・科目の指導目標	既習事項の定着をはかりながら、難関大学入試にも対応できる学力を養成する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	「藤壺の入内」(「源氏物語」) 「夕顔との出会い」(「源氏物語」) 「藤壺の苦悩」(「源氏物語」) 「葵にとりつく生霊」(「源氏物語」) 「紫の上との別れ」(「源氏物語」)	敬語「聞こゆ」の理解と「ぬ」と「し」の識別ができるようになる。 敬語「まかづ」「申す」の理解と「らむ」と「る」の識別ができるようになる。 敬語「のたまふ」の理解と「けれ」と「しか」の識別ができるようになる。 敬語「仕うまつる」の理解と「に」の識別ができるようになる。 敬語「奉る・給ふ」の理解と「な」と「れ」の識別ができるようになる。	14
6月5月7月	1学期期末考査	「明石」(「源氏物語」) 「薄雲」(「源氏物語」) 「螢」(「源氏物語」) 「野分」(「源氏物語」)	敬語「侍り・奏す」の理解と「ぬ」と「な」の識別ができるようになる。 敬語「聞き召す・知ろしめす」の理解と「る」と「らむ」の識別ができるようになる。 敬語「給ふ」の理解と「らむ」と「なり」の識別ができるようになる。 敬語「参る」の理解と「に」と「たる」の識別ができるようになる。	12
7月5月10月	2学期中間考査	「国史略」 「韓非子」 「鶴林玉露」 「漢書」 演習問題	句形を確認し、文意を取る。 句形を確認し、文意を取る。 句形を確認し、文意を取る。 句形を確認し、文意を取る。 問題の解答・解説を通じて、弱点を補強する。	18
10月5月12月	2学期期末考査	演習問題 演習問題	問題演習・解説を通じて、弱点を補強する。 問題演習・解説を通じて、弱点を補強する。	14
12月5月3月	学年末考査	問題演習 問題演習 問題演習	弱点の克服 大学入学共通テスト過去問題演習と解説 共通テスト過去問題演習／本試験の解説 国公立二次試験・私大対策	20

評価の
観点・方法

定期考査、授業への自発的・積極的取り組み、出席状況

教科	国語	科目	現代文演習	学年	3年
担当者	川田裕美子			単位数	2
使用教科書	精選現代文B(筑摩書房)				
使用教材	筑摩評論選(筑摩書房)「現代文長文記述問題集」(いっずな書店)				
教科・科目の指導目標					

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	「社会問題としての倫理学」 「ナショナリズムは悪なのか」萱野稔人 「私」はどこへ行く？黒崎政男 「ディズニーランド」吉見俊哉 「This is japan」プレイディみかこ	一般論と筆者の主張を見極め、要旨を正しく掴むことができるようになる。 言語と認知の関係性や翻訳に関して関心を深める。 「国民国家」や「自然権」といった評論頻出テーマへの理解を深める。 鉤括弧で括られる言葉を筆者の意図を組んだ解釈をできるようにする。 記述対策・本文の表現を丁寧に解答を得る。 現代のアイデンティティーの問題に関する評論を読む。 本文の言葉を言い換えて解答することができるようになる。 要約の作業を通して、比較的長い文章の要旨を掴むことができるようになる。 日本的な社会や政治とのかかわり方について学び、現代社会の特徴について学ぶ。	14
6月7月	1学期期末考査	「敗者の想像力」加藤典洋 「記号としての身体」上野千鶴子 「生命倫理試論」村上陽一郎 「幕末における視座の変格」丸山眞男 「言葉の道具性」イオンスク	複数のテキストを通じてデカルト的な思考の定着を図る。特に「心身二元論」に関して考えを深め、生命倫理の領域の文章にも触れていく。 身体論総まとめとして上野千鶴子の文章を読み、「疎外」「視線の内面化」に関する内容を理解する。 科学、医療の発展に伴う「生命倫理」の捉え方の変化について理解し、新たな視座からの社会のありかたについて理解する。 「経済」や「資本主義」と社会の関係性に焦点を当てながら読み、「消費社会」の実情を正確に理解し、他の文章に応用する知見を身につけていく。 自身の考えを深めながら、問われている内容を正確に理解するロジカルな読み方の完成を目指す。	12
7月8月10月	2学期中間考査	長文記述対策演習 長文記述対策演習 長文記述対策演習 長文記述対策演習 長文記述対策演習	入試問題を通して、「現代社会」に関係する評論の総復習をする。 入試問題を通して、「現代社会」に関係する評論の総復習をする。 入試問題を通して、「現代社会」に関係する評論の総復習をする。 入試問題を通して、「現代社会」に関係する評論の総復習をする。 入試問題を通して、「現代社会」に関係する評論の総復習をする。	16
10月12月	2学期期末考査	共通テスト対策演習 共通テスト対策演習 共通テスト対策演習 共通テスト対策演習 共通テスト対策演習	「共通テスト」追試験の演習解説を行い、生徒の解答力を養成する。 「共通テスト」追試験の演習解説を行い、生徒の解答力を養成する。 「共通テスト」追試験の演習解説を行い、生徒の解答力を養成する。 「共通テスト」追試験の演習解説を行い、生徒の解答力を養成する。 「共通テスト」追試験の演習解説を行い、生徒の解答力を養成する。	12
12月3月	学年末考査	共通テスト対策演習 共通テスト対策演習	「共通テスト」追試験の演習解説を行い、生徒の解答力を養成する。 「共通テスト」追試験の演習解説を行い、生徒の解答力を養成する。	18

評価の
観点・方法

教科	地歴公民	科目	日本史B	学年	3年
担当者	八木 秀明			単位数	6
使用教科書	詳説日本史B(山川出版社)				
使用教材	『最新日本史図表』(第一学習社), 『詳説日本史史料集』(山川出版社), 『日本史用語集』(山川出版社), 『ウイニングコンパス日本史の整理と演習』(とうほう), 『共通テスト実力トレーニング日本史』(啓隆社), 『入試に出る日本史B一問一答』(Z会), 『整理と演習ゼミナール日本史』(浜島書店), 自作ワークシート				
教科・科目の指導目標	日本列島の歴史展開を諸資料に基づき総合的に考察させ、その伝統と文化の特色についての認識を深める。日本の歴史が世界の枠組みの中でいかに展開したのか、史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本国民としての資質を養う。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	I 原始・古代 1 日本文化のあけぼの 2 律令国家の形成	○旧石器文化・縄文文化・弥生文化・古墳文化について理解させる。 ○国内社会の変動と東アジア世界の変動について理解させる。 ○律令国家が成立するまでの天智朝・天武朝・持統朝の政治動向について考察させる。 ○律令制による統治の仕組みを学び、平城京を中心とした政治の動向について理解させる。	42
6月7月	1学期期末考査	I 原始・古代 1 日本文化のあけぼの 2 律令国家の形成 II 中世 1 中世社会の成立	○旧石器文化・縄文文化・弥生文化・古墳文化について理解させる。(課題学習内容の確認) ○国内社会の変動と東アジア世界の変動について理解させる。(課題学習内容の確認) ○律令国家が成立するまでの天智朝・天武朝・持統朝の政治動向について考察させる。(課題学習内容の確認) ○律令制による統治の仕組みを学び、平城京を中心とした政治の動向について理解させる。(課題学習内容の確認) ○院政期前後の土地制度の実態を学び、院政期の特徴を理解する。	36
7月8月10月	2学期中間考査	2 武家社会の成長	○鎌倉幕府の成立過程、朝廷と幕府との二元的支配構造等について理解させる。 ○將軍独裁から執権政治の成立に至る政治過程、武士の土地支配の進展について理解させる。 ○蒙古襲来の影響、鎌倉幕府の衰退との関連について理解させる。 ○室町幕府の成立について理解させる。 ○惣村の形成、一揆の続発、応仁の乱と幕府支配の崩壊、ヨーロッパ人の進出について理解させる。	54
10月11月12月	2学期期末考査	1 幕藩体制の確立 2 幕藩体制の展開 3 幕藩体制の動揺	○ヨーロッパ人の東アジアへの進出が鉄砲やキリスト教の伝来と織田信長・豊臣秀吉の天下統一との関連について考察させる。 ○江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解させる。 ○初期外交から鎖国の成立までの過程について考察させる。 ○文治政治への転換から元禄・正徳の政治に至る幕政の安定期について理解させる。 ○商品経済の発展、農村・都市の変容、幕藩体制の動揺と享保改革について理解させる。 ○享保改革・寛政の改革や諸藩の改革の意義とその影響について考察させる。 ○天保の改革の失敗と幕府が衰退について理解させる。	42
12月13月	学年末考査	センター試験対策	○藩政改革に一定の成果を上げた雄藩が幕末での活動の基盤を形成した意義について考察させる。 ○センター試験に対応した問題演習	60

評価の観点・方法	定期考査のほか、日常的学習・課題の取り組み状況等もふまえ、総合的に評価する。
----------	--

令和5年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	地歴	科目	日本史演習	学年	3
担当者	八木 秀明			単位数	2
使用教科書	詳説日本史B 改訂版(山川出版社)				
使用教材	『最新日本史図表 二訂版』(第一学習社),『詳説日本史史料集 改訂版』(山川出版社),『日本史用語集 改訂版』(山川出版社),『日本史の整理と演習』(とうほう),『共通テスト実力トレーニング日本史』(啓隆社),『入試に出る日本史B一問一答』(Z会),『ゼミナール日本史』(浜島書店), 自作ワークシート				
教科・科目の指導目標	2年時の既習範囲である「日本近現代史」を、史料の精読、問題演習を通して、より発展的に学び、深化させる。あわせて大学受験に十分対応できる思考力を養う。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4 月 5 月	1 学期 中間 考査	○開国と幕末政治の展開 ○明治維新と富国強兵 ○自由民権運動の展開 ○帝国憲法の成立と初期議会	問題演習により、2学年の学内容の定着をはかる	14
6 月 7 月	1 学期 期末 考査	○開国と幕末政治の展開 ○自由民権運動の展開 ○帝国憲法の成立と初期議会 #REF! ○帝国憲法の成立と初期議会 ○明治初期の外交 ○日清戦争 ○社会運動の展開	大学入試に備えた問題演習・史料問題演習を行い、既習範囲(2年次)の内容を深化、発展させる。	12
7 月 10 月	2 学期 中間 考査	○日露戦争と国際関係 ○近代産業の発展 ○第一次世界大戦と日本 ○ワシントン体制 ○政党政治と大衆文化	大学入試に備えた問題演習・史料問題演習を行い、既習範囲(2年次)の内容を深化、発展させる。	18
10 月 12 月	2 学期 期末 考査	○恐慌の時代 ○軍部の台頭 ○アジア太平洋戦争 ○占領と改革 ○冷戦の開始と講和	大学入試に備えた問題演習・史料問題演習を行い、既習範囲(2年次)の内容を深化、発展させる。	14
12 月 3 月	学 年 末 考査	○55年体制 ○経済復興から高度経済成長へ ○センター試験にむけて総まとめ	大学入試に備えた問題演習・史料問題演習を行い、既習範囲(2年次)の内容を深化、発展させる。	20

評価 の 観点・ 方法	定期考査のほか、日常的学習・課題の取り組み状況等もふまえ、総合的に評価する。
----------------------	--

教科	地理歴史	科目	世界史B	学年	3
担当者	北原 淳弥			単位数	6
使用教科書	詳説 世界史B 山川出版社				
使用教材	世界史用語集 山川出版社 最新世界史図説 タペストリー 二十訂版 帝国書院				
教科・科目の指導目標	世界史の通史を理解し、歴史から現代社会の諸問題を学ぶ態度を涵養する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	序章 先史の時代 第1章 1.古代オリエント世界 2.ギリシア世界 3.ローマ世界 第2章 1.インドの古典文明 2.東南アジアの諸文明 3.中国の古典文明	先史時代の人類史を理解する。 西アジア世界の地理的特質を把握させ、オリエント文明の成育、インドの活動を地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴理解させる。 都市国家から大帝国内に発展したローマ文明の特徴を理解させる。 インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解させる。 東アジアの地理的特質を把握させ、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解させる。	42
6月7月	1学期期末考査	4.南北アメリカ文明 第3章 1.草原の遊牧民 2.北方民族の活動と中国の分裂 3.東アジア文化圏の形成 第4章 1.イスラーム世界の形成 2.イスラーム世界の発展 3.インド・東アジア・アフリカのイスラーム化 4.イスラーム文明の発展	先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色、内陸アジアの地理的特質を把握させ、を理解させる。 東アジアにおける北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解させる。 隋・唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解させる。 イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解させる。 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など、イスラーム世界の拡大の過程、内容を理解させる	36
7月8月10月	2学期中間考査	第5章 1.西ヨーロッパ世界の成立 2.東ヨーロッパ世界の成立3.西ヨーロッパ世界の成立 4.西ヨーロッパの中世文化 第6章 1.トルコ化とイスラーム化の進展 2.東アジア諸地域の自立化 3.モンゴルの大帝国 第7章 1.東アジア世界の動向 2.清代の中国と隣接諸地域 3.トルコ・イラン世界の展開 4.ムガル帝国の興隆と東南アジア交易	ヨーロッパ世界が東西に分かれ、西ヨーロッパで封建社会が形成され、ビザンツ帝国の動向を理解させる。 教会と修道院、ヨーロッパ中世文化の特色、内陸アジア世界におけるトルコ人の活動を理解させる。 遊牧諸勢力の台頭や、宋の興亡と社会や文化の特色を理解させる。 モンゴル帝国の興亡を理解させる。 中華帝国を再現した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解させる。 清朝の形成した広大な領土支配とその社会や文化と、東アジア世界の動向をトルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解させる。 東南アジアに誕生したムガル帝国の動向とその社会や文化の特色、東南アジアを	54
10月12月	2学期期末考査	第13章 1.帝国主義と列強の展開 2.世界の分割と列強対立 第14章 1.第一次大戦とロシア革命 2.ヴェルサイユ体制下の欧米 3.アジア・アフリカ地域の民族運動 第14章 4.世界恐慌とファシズム 5.第二次世界大戦 第15章 1.アジアの独立 2.米ソ冷戦の激化	列強の帝国主義政策により、世界分割が進み大戦に至った経緯を理解させる。 ロシア革命により史上初めて社会主義国家が誕生したこと、およびそれに対する国際社会の対応を理解させる。 戦後の旧宗主国の混乱を背景にアジア・アフリカ地域で独立運動が展開されたことを理解させる。 世界恐慌による国際経済の破綻が、ファシズムの台頭を招くことを理解させ、その後の大戦につながることを理解させる。 戦後の旧宗主国の混乱を背景にアジア諸国が独立を達成し、また米ソ冷戦が激化したことを理解させる。	42
12月1月3月	学年末考査	第15章 3.第三世界の台頭 4.石油危機と世界経済の再編 第16章 2.途上国の民主化 3.地域紛争の激化 4.現代文明の諸問題	第三世界の台頭および石油危機による経済の混乱を理解させる。 途上国の民主化、国境紛争の激化、テロなど今日の社会が抱える問題を理解させる。	60

評価の
観点・方法

教科	地理歴史	科目	世界史演習	学年	3
担当者	北原 淳弥			単位数	2
使用教科書	詳説 世界史B 山川出版社				
使用教材	世界史用語集 山川出版社 最新世界史図説 タペストリー 二十訂版 帝国書院 ベストセレクション 大学入学共通テスト				
教科・科目の指導目標	世界史の通史を理解し、歴史から現代社会の諸問題を学ぶ態度を涵養する。 私立文系入試に対応できるよう問題演習を行う。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 1.ヨーロッパ世界の拡大 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 3.宗教改革 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 4.ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1.重商主義と啓蒙専制主義 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 2.ヨーロッパ諸国の海外進出	ヨーロッパ世界の拡大およびルネサンスに関する知識の定着をはかる。 宗教改革に関する知識の定着をはかる。 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成に関する知識の定着をはかる。 インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解させる。 東アジアの地理的特質を把握させ、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解させる。	14
6月7月	1学期期末考査	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展 第11章 欧米における近代国民国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺 2.南アジア・東南アジアの植民地化	ヨーロッパ世界の拡大およびルネサンスに関する知識の定着をはかる。 宗教改革に関する知識の定着をはかる。 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成に関する知識の定着をはかる。 南北アメリカの発展およびオスマン帝国支配の動揺に関する知識の定着をはかる。 南アジア・東南アジアの植民地化および東アジアの激動に関する知識の定着をはかる。	12
7月10月	2学期中間考査	序章 先史の時代 第1章 1.古代オリエント世界 2.ギリシア世界 3.ローマ世界 第2章 1.インドの古典文明 2.東南アジアの諸文明 3.中国の古典文明	先史時代の人類史およびオリエント文明の盛衰、イラン人の活動に関する知識の定着をはかる。を理解させる。 エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明に関する知識の定着をはかる。 大帝国に発展したローマ文明に関する知識の定着をはかる。 インド文明の成立と発展、東南アジア世界における国家形成の過程に関する知識の定着をはかる。 中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までに関する知識の定着をはかる。	18
10月12月	2学期期末考査	4.南北アメリカ文明 第3章 1.草原の遊牧民 2.北方民族の活動と中国の分裂 3.東アジア文化圏の形成 第4章 1.イスラーム世界の形成 2.イスラーム世界の発展 3.インド・東アジア・アフリカのイスラーム化 4.イスラーム文明の発展	南北アメリカ文明の形成、内陸アジアに関する知識の定着をはかる。 北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晉南北朝という中国の分裂と動乱に関する知識の定着をはかる。 隋・唐帝国の国家制度や文化および東アジア世界諸国の国家体制に関する知識の定着をはかる。 イスラーム世界の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成に関する知識の定着をはかる。 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化などに関する知識の定着をはかる。	14
12月3月	学年末考査	第13章 1.帝国主義と列強の展開 2.世界の分割と列強対立 第14章 1.第一次大戦とロシア革命 2.ヴェルサイユ体制下の欧米	列強の帝国主義政策に関する知識の定着をはかる。 ロシア革命から戦後のヴェルサイユ体制の本質の理解など、国際社会への理解を深める。	20

評価の
観点・方法

教科	数学	科目	数学Ⅲ	学年	3
担当者	AE(佐藤) F(黒崎) B(横井)			単位数	6
使用教科書	数研出版 改訂版 数学Ⅲ				
使用教材	サクシード 数学Ⅲ(数研出版 教科書傍用問題集) チャート式 基礎からの数学Ⅲ(数研出版 参考書) クリアー 数学Ⅲ(数研出版 受験編)				
教科・科目の指導目標	数学Ⅲは高等学校における数学学習のひとつの完結段階であることを鑑み、数学的思考力の基盤が確立できるよう、特に、基本概念の明確な理解と基本的な技能の習熟が得られるようにする。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	微分法	・三角関数、対数関数、指数関数についての導関数の公式を導き、導関数の計算ができるようにする。 ・第1次導関数を定義し、節曲が関数について計算ができればよいとする	42
		微分法の応用	・微分法で学んだ計算を基に、「接線と法線」「平均値の定理」「関数の値の変化」などを理解し、問題を解くことができるようにする。	
		微分法の応用	・微分法で学んだ計算を基に、「関数の最大と最小」「関数のグラフ」などを理解し、問題を解くことができるようにする。	
6月5月7月	1学期期末考査	積分法(不定積分)	・積分に関する基本性質を理解させ、いろいろな関数の不定積分を、基本的な関数の積分に帰着させて計算できるようにする。	36
		積分法(定積分)	・置換積分法、部分積分法を利用して、いろいろな関数の積分計算ができればよいとする	
		積分法の応用	・積分に関する基本性質を理解させ、いろいろな関数の定積分を、計算できるようにする。	
		積分法の応用	・置換積分法、部分積分法を利用して、いろいろな関数の定積分の計算ができるようにする。 ・積分法で学んだ計算を基に、「面積」「体積」を理解し、問題を解くことができるようにする。	
7月5月10月	2学期中間考査	複素数平面	・複素数の計算により、複素数の値を表す点が複素数平面上でどのような動きをすることを理解し、逆にそのことを用いて複素数の計算を理解する。	54
		複素数平面	・複素数がある条件を満たすとき、それらが複素数平面上でどのような軌跡を描いたり、領域になるかを求めることができるようにする。	
		2次曲線	・放物線、楕円、双曲線について、これらを表す方程式と曲線の性質を学習する。	
		媒介変数表示と極座標	・極座標の表し方を理解させるとともに、極座標と直角座標の変換ができるようにする。	
		問題演習	・いろいろな曲線を極方程式で表せるようにする 問題演習・基礎・基本の定着と、応用力の養成をはかる。	
10月5月12月	2学期期末考査	問題演習	問題演習・基礎・基本の定着と、応用力の養成をはかる。	42
		問題演習	問題演習・基礎・基本の定着と、応用力の養成をはかる。	
12月5月3月	学年末考査	問題演習	問題演習・基礎・基本の定着と、応用力の養成をはかる。	60

評価の
観点・方法

教科	数学	科目	数ⅠAα	学年	3年
担当者	尾花 薫			単位数	2
使用教科書					
使用教材	ニュースタンダード数学演習ⅠA+ⅡB(数研出版)、共通テスト対策問題集				
教科・科目の指導目標	大学入学共通テスト対策として、数ⅠAの学力向上を図る。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	1. 式の計算(1) 2. 式の計算(2) 3. 1次不等式 4. 集合と命題 5. 2次関数最大最小(1) 6. 最大最小(2)	式の展開・因数分解が計算できる。 分母の有理化ができるようになる。対称式を理解する。絶対値付きの方程式・不等式が解ける。文字を含む不等式が解ける。 命題、真偽、対偶、否定を理解する。必要条件・十分条件・必要十分条件を理解する。 2次関数の性質を理解する。最大値・最小値を求められる。 ある区間における2次関数の最大値・最小値を求められる。	12
6月5月7月	1学期期末考査	7. 2次方程式と2次不等式 8. 2次関数の種々の問題 9. 三角比と図形(1) 10. 三角比と図形(2) 11. 図形の計算 12. データの代表値と散らばり 13. データの相関	2次方程式・2次不等式を解くことができる。 三角比を理解し、相互関係を利用した計算ができる。 正弦定理・余弦定理を理解して、三角形の要素を求めることができる。また、三角比を利用して図形の問題を考えることができる。 三角比を空間の図形に応用できる。データの平均・中央値・最頻値・四分位範囲偏差を理解する。ヒストグラム・分散・標準偏差・箱ひげ図を理解する。 散布図、相関関係を理解し、相関係数を計算できる。	12
7月5月10月	2学期中間考査	14. 場合の数、順列 15. 組合せ. 16. 確率(1) 17. 確率(2) 18. 図形の性質(1) 19. 図形の性質(2) 20. 整数の性質(1) 20. 整数の性質(1) 21. 整数の性質(2)	樹形図、順列、組合せを理解し、場合の数を求めることができる。 様々な問題の確率や条件付き確率を計算できる。 確率の応用問題を解決できる。三角形の五心・内分・外分・相似比・面積比などを理解し、図形問題を解決することができる。 チェバ・メネラウスの定理・円周角の定理・接弦定理・方べきの定理等を理解し、図形に応用できる。素因数・最大公約数・最小公倍数・剰余類等を理解する。 不定方程式を解くことができる。ある等式を満たす自然数を求めることができる。N進数を理解する。	14
10月5月12月	2学期期末考査	共通テスト対策問題集を解く	様々な入試問題を解くことにより、数ⅠAの実力向上を目指す。	14
12月5月3月		共通テスト対策問題集を解く	様々な入試問題を解くことにより、数ⅠAの実力向上を目指す。	18

評価の
観点・方法

年4回の定期考査や数回の小テストの素点、及び課題の提出・授業の出席状況により評価する。

令和5年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	数学	科目	数学 I A β	学年	3
担当者	A～F: 矢野			単位数	2
使用教科書					
使用教材	スタンダード数学演習 I II AB (数研出版) 共通テスト対策問題集 (河合塾, ラーンズ他)				
教科・科目の指導目標	2年次までの学習を確認するとともに, 受験レベルの記述演習および共通テスト演習をする				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	式の計算 恒等式・割り算の問題 1学期中間考査	各単元の大学入試における過去問題の演習、解法の解説する。入試問題を通じて問題への取り組み方を学び、解くことがで	12
6月7月	1学期期末考査	数の理論 不定方程式 整数の種々の問題 まとめの問題(整数) 関数とグラフ 1学期期末考査 最大・最小	各単元の大学入試における過去問題の演習、解法の解説する。入試問題を通じて問題への取り組み方を学び、解くことがで 各単元の大学入試における過去問題の演習、解法の解説する。入試問題を通じて問題への取り組み方を学び、解くことがで	12
7月10月	2学期中間考査	2次方程式の理論 種々の方程式の問題 不等式の種々の問題 式の値・二項定理 等式・不等式の証明 集合と論証 図形の性質 2学期中間考査	各単元の大学入試における過去問題の演習、解法の解説する。入試問題を通じて問題への取り組み方を学び、解くことがで 各単元の大学入試における過去問題の演習、解法の解説する。入試問題を通じて問題への取り組み方を学び、解くことがで	14
10月12月	2学期期末考査	共通テスト対策演習 2学期期末考査 共通テスト対策演習	共通テスト対策問題集を使用して、時間を計って演習する。 共通テスト対策問題集を使用して、時間を計って演習する。	14
12月3月	学年末考査	受験演習		18

評価の観点・方法	定期考査のほか、日常的学習の取り組み状況等もふまえ、総合的に評価する。
----------	-------------------------------------

教科	数学	科目	数学ⅡB α	学年	3
担当者	横井 理毅			単位数	2
使用教科書	数学Ⅱ, 数学B (数研出版)				
使用教材	最新版 大学入学共通テスト対策 ニューステージ数学演習 I・A+II・B 受験編 (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版 参考書)				
教科・科目の指導目標	数学ⅡBの基本概念の理解と応用力を養成できるように演習する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4 月 5 月	1 学期 中間 考査	29 30 三角関数(1)(2) 31 32 指数関数・対数関数(1)(2) 33 導関数と接線 34 関数の値の変化 35 微分法の応用	2倍角, 3倍角, 半角の公式や三角関数の合成までの基本となる加法定理の公式を理解し問題が解答できるようにする。 指数関数と対数関数は逆関数の関係にある。気をつけなければならない内容をグラフの概形などを利用し理解を深めさせる。 微分の基本的な考え方である平均変化率, 極限値の内容を理解させ, 微分法の概念を定着させる。 極値とそうでない微分係数が0のときの違いなど, 問題を多く解くことで理解を深めさせる。 3次方程式の解の個数問題や最大値・最小値を求める問題, 3次関数の決定など応用問題に取り組み, 解法を理解させる。	14
6 月 5 月 7 月	1 学期 期末 考査	36 不定・定積分 37 面積の計算(1) 38 面積の計算(2) 39 ベクトル 40 ベクトルと平面図形	微分において, 入試の基本問題を解けるレベルまで到達させた後, 微分法の逆演算となる積分法, 不定積分に取り組ませる。 面積の計算の基本を理解させる。 複雑な面積の計算問題を簡単にする公式を使えるようになる。 ベクトルの基本演算を理解させる。成分計算と内積計算になれる。 ベクトルと平面図形の関連を説明し, 直線の方程式, 内分・外分点の座標を求める問題と変わりがばいことを確認させる。	12
7 月 5 月 10 月	2 学期 中間 考査	41 ベクトルと空間図形 46 空間ベクトルと図形 42 等差・等比数列 43 種々の数列 44 漸化式, 数列の応用	空間ベクトルは, 座標軸が一つ加わったものとして, 平面ベクトルと計算方法, 考え方は同じことを分からせる。 空間ベクトルは, 座標軸が一つ加わったものとして, 平面ベクトルと計算方法, 考え方は同じことを分からせる。 Σ の計算問題や漸化式に対応できるようにするため, 正確で確実に一般項, 一般項までの和が求められるようにさせる。 和の求め方の工夫をして, 数列の和が求められるようにする。工夫を要する複雑な漸化式について考察できるようにする。 漸化式の意味を理解し, いろいろな数列の漸化式表現を学ぶ。	18
10 月 5 月 12 月	2 学期 期末 考査	実戦問題 三角関数88, 89 実戦問題 指数関数・対数関数95, 96 実戦問題 微分法と積分法110, 111 実戦問題 微分法と積分法112, 113	大学共通テスト対策演習を行う。 大学共通テスト対策演習を行う。 大学共通テスト対策演習を行う。 大学共通テスト対策演習を行う。	14
12 月 5 月 3 月	学 年 末 考査	実戦問題 ベクトル 120, 121 実戦問題 数列128, 129 問題演習 問題演習	大学共通テスト対策演習を行う。 大学共通テスト対策演習を行う。 入試基本及び入試標準レベルの演習・解説を行う。 入試基本及び入試標準レベルの演習・解説を行う。	20

評価の
観点・方法

定期考査, 確認テスト, 提出課題

教科	数学	科目	数学ⅡBβ	学年	3
担当者	A:角田 B:佐藤 CD:角田 E:角田 F:佐藤			単位数	2
使用教科書	なし				
使用教材	スタンダード数学演習ⅠⅡAB (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版 参考書)				
教科・科目の指導目標	2年次までの学習を確認するとともに、受験レベルの記述演習をする				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	点と直線 曲線と直線 領域の最大最小 図形と式の種々の問題 三角関数(1) 三角関数(2)	左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学び、解くことができるようになる。	14
6月7月	1学期期末考査	指数関数・対数関数 導関数 方程式・不等式への応用 積分の計算 定積分で表された関数	左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学び、解くことができるようになる。 左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学び、解くことができるようになる。 左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学び、解くことができるようになる。	12
7月8月10月	2学期中間考査	面積(1) 面積(2) ベクトルの基本 ベクトルの内積 ベクトルと平面図形(1) ベクトルと平面図形(2) ベクトルと空間図形 等差数列・等比数列	左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学び、解くことができるようになる。 左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学び、解くことができるようになる。 左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学び、解くことができるようになる。 左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学び、解くことができるようになる。 左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学び、解くことができるようになる。	18
10月12月	2学期期末考査	種々の数列 漸化式と数列 数列の応用 大学入試問題演習	左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学ぶ。 左記のテーマの大学入試の過去問題の演習、解法の解説、基本事項の確認を講義する。これらを通じて大学入試問題への取り組み方を学ぶ。 大学入試の過去問題の演習する。	14
12月3月	学年末考査	大学入試問題演習 大学入試問題演習	大学入試の過去問題の演習する。 大学入試の過去問題の演習する。	20

評価の 観点・方法	定期考査, 提出課題
--------------	------------

教科	理科	科目	物理	学年	3
担当者	田辺			単位数	5
使用教科書	物理改訂版(啓林館)				
使用教材	セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 物理重要問題集(数研出版) チェック&演習物理(数研出版)				
教科・科目の指導目標	物理基礎での内容をさらに深め、専門的な知識を身につけて、物理的考察ができる力を育成する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	第1部 様々な運動 第4章 円運動と単振動 第1部 様々な運動 第4章 円運動と単振動 第1部 様々な運動 第5章 万有引力 第2部 熱 第1章 気体分子の運動 第2部 熱 第1章 気体分子の運動	<ul style="list-style-type: none"> 円運動:円運動をする物体について、運動の様子を表す方法やその物体にはたらく力などを理解させる。 慣性力・非慣性系において、物体にはたらく慣性力を理解させ、さらに円運動と単振動:単振動をする物体について、運動の様子を表す方法やその物体にはたらく力などを理解させる。 万有引力:万有引力の法則及び万有引力による物体の運動について理解させる。 気体の状態方程式:気体分子の運動と圧力の関係について理解させる。 気体分子の熱運動:気体分子の圧力と気体分子の熱運動を理解させる。 熱力学第1法則:気体の内部エネルギーについて、熱力学の第1法則に関連付けて理解させる。 	35
6月7月	1学期期末考査	第3部 波 第3章 光 第3部 波 第3章 光 第4部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第4部 電気と磁気 第1章 電界と電位	<ul style="list-style-type: none"> 光の性質:光の伝わり方について理解させる。光のスペクトルや光の散乱について理解させる。 静電気:静電気の種類と性質について理解させる。 電界:クーロンの法則と電界について理解させる。 電位:電界と電位の関係を理解させる。 	30
7月8月10月	2学期中間考査	第4部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第4部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第4部 電気と磁気 第2章 電流 第4部 電気と磁気 第4章 電磁誘導と電磁波 第4部 電気と磁気 第4章 電磁誘導と電磁波	<ul style="list-style-type: none"> 電位:電界と電位の関係を理解させる。 コンデンサー:コンデンサーの性質を理解させる。 電流:オームの法則とジュール熱について理解させる。 電流の向きと電圧降下の性質を理解させる。 半導体:半導体の性質とその利用について理解させる。 磁気力と磁界:磁気力に関するクーロンの法則と、磁界と磁力線について理解させる。 電流が磁界から受ける力:電流が磁界から受ける力について理解すること。 ローレンツ力:ローレンツ力と磁界中の荷電粒子の運動について理解させる。 電磁誘導の法則:電磁誘導とその法則について理解させる。 磁界中を運動する導体棒:ローレンツ力と誘導起電力、電磁誘導とエネルギーの保存について理解させる。 	45
10月12月	2学期期末考査	第4部 電気と磁気 第4章 電磁誘導と電磁波 第4部 電気と磁気 第4章 電磁誘導と電磁波	<ul style="list-style-type: none"> 自己誘導と相互誘導:自己誘導とコイルの性質について理解させる。 交流:交流について現象や法則を理解させる。 電気振動と電磁波:電気振動と電磁波の性質について理解させる。 	35
12月13月	学年末考査	第5部 原子・分子の世界 第1章 電子と光 第5部 原子・分子の世界 第1章 電子と光	<ul style="list-style-type: none"> 電子の電荷と質量:電子の電荷と質量について理解させる。 光の粒子性:光の粒子性について理解させる。 原子モデル:原子の構造及びスペクトルの関係について理解させる。 	50

評価の
観点・方法

定期考査、小テスト、課題提出状況から総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	理科	科目	化学	学年	3
担当者	西本一彬			単位数	3
使用教科書	化学 実教出版				
使用教材	セミナー 化学基礎＋化学 第一学習社 化学重要問題集 数研出版 新化学図表 浜島書店				
教科・科目 の 指導目標	①自然の事物・現象に関することを題材にして、基本的な概念、原理、法則を理解する。 ②実験や観察を通して、科学的な自然観を身につける。 ③物質をよく知るにより、現代社会をより広い視野で捉え、的確な判断を下すことができるようになる。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4 月 5 月	1 学期 中間 考査	芳香族化合物 酸素・窒素を含む芳香族化合物 化学反応の速さとしくみ	芳香族化合物の特異的な性質を理解し、説明できるようになる。 フェノール類やアニリン系の芳香族化合物の性質や反応を理解する。 反応速度の定義、原理を数式を用いて理解する。	18
6 月 7 月	1 学期 期末 考査	可逆変化と化学平衡 電解質水溶液の化学平衡 非金属元素 金属元素	可逆な反応を反応速度と絡めて理解する。 電離平衡についてのpH計算や濃度計算ができるようになる。 非金属元素を体系的に理解する。 金属元素を体系的に理解する。	18
7 月 10 月	2 学期 中間 考査	天然有機化合物 合成高分子化合物	糖類・アミノ酸・タンパク質の性質・反応を理解する。 合成繊維・合成樹脂の製法、原料を説明できるようになる。	21
10 月 12 月	2 学期 期末 考査	問題演習、演習実験	入試過去問や実験を通じて、入試に対応できる実力を身につける	21
12 月 3 月	学 年 末 考査	総合問題演習	分野をまたがる総合的な問題を演習することで、多様な入試問題に対応する力を身につける。	27

評価の方法	定期考査、小テスト、実験レポート、その他課題を総合的に判断する。
-------	----------------------------------

教科	理科	科目	生物	学年	3
担当者	村澤 匠			単位数	5
使用教科書	改訂版 生物(数研出版)				
使用教材	スクエア最新図説生物(第一学習社)、センサー総合生物(啓林館)				
教科・科目の指導目標	生命現象の本質を詳細に理解するとともに、実験・観察を通じて科学的探求心を養う。生命について深く考察することで生命の大切を実感する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4 月 5 月	1 学期 中間 考査	(1)細胞と分子 (2)代謝 (3)遺伝情報の発現	生命現象とタンパク質について具体的に説明できる。 代謝とエネルギー代謝、光合成、呼吸について詳細に説明できる。 遺伝情報とその発現について具体的に説明できる。	35
6 月 5 7 月	1 学期 期末 考査	(4)有性生殖 (5)動物の発生 (6)植物の発生 (7)植物の環境応答	減数分裂と受精について具体的に説明できる。 動物の配偶子形成と受精、発生について具体的に説明できる。 植物の配偶子形成と胚発生、器官形成について具体的に説明できる。 植物の環境応答と植物ホルモンについて具体的に説明できる。	30
7 月 5 10 月	2 学期 中間 考査	(8)動物の反応と行動 (9)個体群と生物群集 (10)生態系 (11)生物の進化	動物の刺激の受容と反応について具体的に説明できる。 個体群と生物群集について具体的に説明できる。 生態系の物質生産について具体的に説明できる。 生命の起源変遷、および進化のしくみについて具体的に説明できる。	45
10 月 5 12 月	2 学期 期末 考査	(12)生物の系統 総合問題演習 総合問題演習 総合問題演習	生物の系統について具体的に説明できる。 大学入試問題が解ける。 大学入試問題が解ける。 大学入試問題が解ける。	35
12 月 5 3 月	学 年 末 考査	総合問題演習 総合問題演習 まとめ	大学入試問題が解ける。 大学入試問題が解ける。 1年間のまとめ	50
評価の 観点・方法		定期考査のほか、日常的学習・課題の取り組み状況等もふまえ、総合的に評価する。		

教科	理科(化学)	科目	化学基礎演習	学年	3
担当者	三島 慶睦			単位数	2
使用教科書	化学基礎(実教出版)				
使用教材	大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学基礎(数研出版)				
教科・科目の指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験「化学基礎」に対応し、既習事項を復習することで、基礎的・基本的な知識の確実な定着及び探究的な学習活動の一層の充実をはかる。 ・演習を通して、時間内に問題を解答する技術を身につける。 				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 第2編 物質の変化 第4章 物質と化学反応式	混合物、単体、化合物、元素の区別をできるように、物質の構成に関する大学入学共通テストレベルの問題に対応できるようになる。 物質の構成粒子や、その粒子の結合に関する大学入学共通テストの問題に対応できるようになる。 物質質量、反応式の量的関係、溶液の濃度に関する大学入学共通テストレベルの計算問題に対応できるようになる。	14
6月5月7月	1学期期末考査	第5章 酸と塩基 第6章 酸化と還元	酸と塩基に関する大学入学共通テストレベルの問題に対応できるようになる。 酸化還元反応に関する大学入学共通テストレベルの問題に対応できるようになる。	12
7月5月10月	2学期中間考査	付編 日常生活に関連した化学 第7章 日常生活に関連した化学 総合問題演習	日常生活と関連づけた大学入学共通テストレベルの問題に対応できるようになる。 実験に関連した大学入学共通テストレベルの問題に対応できるようになる。 大学入学共通テストレベルの実践問題が解けるようになる。	18
10月5月12月	2学期期末考査	総合問題演習	大学入学共通テストレベルの実践問題が解けるようになる。	14
12月5月3月	学年末考査	総合問題演習	大学入学共通テストレベルの実践問題が解けるようになる。	20

評価の
観点・方法

定期考査のほか、日常的学習・課題の取り組み状況等もふまえ、総合的に評価する。

教科	理科	科目	生物基礎	学年	3
担当者	村澤 匠			単位数	2
使用教科書	高校生物基礎 新訂版(実教出版)				
使用教材	スクエア最新図説生物、セミナー生物基礎 自作プリント				
教科・科目の指導目標	生命の共通性と多様性を理解し、基礎的な生命現象について学ぶ				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4 月 5 月	1 学期 中間 考査	生物の共通性と多様性 細胞の構造と働き 原核生物と真核生物	<ul style="list-style-type: none"> 生物は共通の祖先から進化してきたことを理解し、生物の共通性と多様性の関係について理解する。 細胞の構造と働きについて、光学顕微鏡レベルの細胞小器官について理解する。 原核生物と真核生物の特徴について理解する。 	14
6 月 5 月 7 月	1 学期 期末 考査	細胞とエネルギー① 細胞とエネルギー② 細胞内共生 遺伝情報とDNA 遺伝情報の分配① 遺伝情報の分配②	<ul style="list-style-type: none"> 代謝の意義、代謝における酵素の役割について理解する。 呼吸・光合成におけるATP合成の仕組みを理解し、呼吸と光合成の共通点と相違点について理解する。 細胞内共生の根拠について、具体例を挙げて理解する。 DNAの塩基配列について理解する。 DNAの構造と特徴について理解する。 細胞周期の各期について理解する。 体細胞分裂に伴って、細胞中のDNA量がどのように変化するかを理解する。 	18
7 月 5 月 10 月	2 学期 中間 考査	遺伝情報とタンパク質の合成① 遺伝情報とタンパク質の合成② 生態系のバランスと保全 体内環境① 体内環境②	<ul style="list-style-type: none"> DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の対応について理解する。 生体内でのタンパク質の様々な働きについて理解する。 特定の遺伝子が発現することと、細胞が分化することの関係を理解する。 生態系のバランスを維持する仕組みがあることを理解する。 生態系の保全の重要性を理解する。 体液相互の関係と、一定の幅をもって体内環境が調節されることを理解する。 肺から体内の他の組織へ酸素を運搬し、供給する仕組みを理解する。 血液の循環について理解する。 肝臓・腎臓の構造と機能について理解する。 血液凝固の過程について理解する。 	27
10 月 5 月 12 月	2 学期 期末 考査	体内環境の維持の仕組み 体内環境の維持の仕組み 免疫	<ul style="list-style-type: none"> 自律神経の働きについて理解する。 ホルモンの働きとフィードバック調節について理解する。 血糖濃度の調節の仕組みや糖尿病が発症する仕組みを理解する。 免疫の特異性と免疫記憶について理解する。 予防接種と血清療法仕組みについて理解する。 	21
12 月 5 月 3 月	学 年 末 考査	植生と遷移 気候とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> 環境要因の変化により、どのような植物が生育するかを理解する。 遷移の進み方は必ずしもモデル的でないことと、攪乱が遷移に及ぼす影響を理解する。 現在のバイオームは気温と降水量に対して適応している結果であることを理解する。 	30
評価の観点・方法		定期テスト(授業内実施)、日常的学習・課題の取り組み状況等もふまえ、総合的に評価する。		

教科	保健体育	科目	体育	学年	3
担当者	成田・蓑輪・柳屋・渡辺			単位数	2
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)				
使用教材					
教科・科目の指導目標	運動・スポーツを実践する方法を身につけるとともに知的理解を深める。基礎的な体力の向上と技能の習得・向上を図る。公正・協力・責任などの態度を養う。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	・授業オリエンテーション ・バレーボール、ソフトボール、卓球より選択しグループ学習	◎選択制体育の意義を理解させ個人・グループで自主的・主体的に授業を展開させる。 ◎自らの目標設定が適切であるか、課題を見つけ解決していく方法を身に付けさせる	14
5月		”	”	
5月		”	”	
6月		”	”	
6月5月7月	1学期期末考査	水泳	水泳(時間泳)の特性を理解させ、協力・協調して積極的に授業に取り組むように指導する。	12
5月		”	”	
7月		”	”	
7月		”	”	
7月5月10月	2学期中間考査	・テニス、バドミントン、卓球より選択しグループ学習	◎選択制体育の意義を理解させ個人・グループで自主的・主体的に授業を展開させる。 ◎自らの目標設定が適切であるか、課題を見つけ解決していく方法を身に付けさせる	18
5月		”	”	
10月		”	”	
10月		”	”	
10月5月12月	2学期期末考査	・サッカー、バドミントン、卓球より選択しグループ学習	◎選択制体育の意義を理解させ個人・グループで自主的・主体的に授業を展開させる。 ◎自らの目標設定	14
5月		”	”	
12月5月3月	学年末考査	・サッカー、バドミントン、卓球より選択しグループ学習	◎選択制体育の意義を理解させ個人・グループで自主的・主体的に授業を展開させる。 ◎自らの目標設定	20
5月		”	”	

評価の 観点・方法	準備や片付けの積極性や安全に配慮し活動できたか、技能の向上に積極的に取り組んだか、試合の運営方法やルールが理解できたかなどを、授業観察やスキルテスト、個人カード等を総合的に判断し5段階評価を行う。
--------------	--

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年	3
担当者	中田 淳予 関口 武史			単位数	4
使用教科書	Perspective English CommunicationⅢ (第一学習社)				
使用教材	①Mainstream English CommunicationⅢ (増進堂)②Logical English Reading(三省堂)③速読英単語必修編(Z会)④速読英単語上級編(Z会)⑤共通テスト40分プレノート(数研)⑥共通テスト読解トレーニング(EMILE) ⑦英文速読ドリル⑧ドリルリスニング教材 (Focus on Listening Standard、pre-Advanced)				
教科・科目の指導目標	①教科書や副教材を効果的に使い、大学入試対応力を向上させる。②速読や精読を通して正しく素早く内容を理解できるリーディングの力を養う。③自分の考えや意見を簡単な英語で書いたり、話したりすることで、4技能(5領域)を向上できるようにする。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4 月 5 月	1 学期 中間 考査	Lesson 1 Let's Go to the Movies!	・本文については、ペアワークなどの言語活動を通して理解を深め、内容に関する自分の意見を英語で伝えることができる。 ・本文を通して異文化理解、人権問題、著名人などの功績等を学び、幅広い知識と教養を身に付ける。	28
		Lesson 2 Louis Pasteur - Medical Wonder Worker	・本文については、ペアワークなどの言語活動を通して理解を深め、内容に関する自分の意見を英語で伝えることができる。 ・本文を通して異文化理解、人権問題、著名人などの功績等を学び、幅広い知識と教養を身に付ける。	
		Lesson 3 The Loneliest Black Player	・本文については、ペアワークなどの言語活動を通して理解を深め、内容に関する自分の意見を英語で伝えることができる。 ・本文を通して異文化理解、人権問題、著名人などの功績等を学び、幅広い知識と教養を身に付ける。	
		Lesson 6 Feathers of Love Lesson 7 You Can Be a World Memory Champion!	(1)多くの語彙を身に付け、構文をしっかりと理解し、音読を通して様々な表現を自動化する。 (2)本文については、その概要を英語で表現できるようにする。 (3)本文における分詞構文、関係代名詞、仮定法、比較、特殊構文などの扱われ方を確実に理解し、定着させ	
		Lesson 8 Science of the Canyon Lesson 9 A Miracle of Navigation	(1)多くの語彙を身に付け、構文をしっかりと理解し、音読を通して様々な表現を自動化する。 (2)本文については、その概要を英語で表現できるようにする。 (3)本文における分詞構文、関係代名詞、仮定法、比較、特殊構文などの扱われ方を確実に理解し、定着させ	
6 月 5 月 7 月	1 学期 期末 考査	1学期中間考査		24
		Reading 1 An Unlikely Friendship	(1)本文を読んで、それに対する自分の考えを英語で表現できるようにする。 (2)長い文章に慣れ、読解に必要な情報を探し出し、それらのテーマについて書いたり話したりして、英語で自分の意見を述べられるようにする。	
		Reading 2 Cellists	(1)本文を読んで、それに対する自分の考えを英語で表現できるようにする。 (2)長い文章に慣れ、読解に必要な情報を探し出し、それらのテーマについて書いたり話したりして、英語で自分の意見を述べられるようにする。	
		Reading 3 The Nobel Prize Speech Given by Aung San Suu Kyi	(1)本文を読んで、それに対する自分の考えを英語で表現できるようにする。 (2)長い文章に慣れ、読解に必要な情報を探し出し、それらのテーマについて書いたり話したりして、英語で自分の意見を述べられるようにする。	
7 月 5 月 10 月	2 学期 中間 考査	1学期期末考査		36
		Change the world. Unit 1-5 現代を探るUnit 6-10	心理学・教育・ディスカッション・ディベートに関する英文を問題意識を持って正確に早く読み解くことができる。語彙・リスニング・速読力を増強する。	
		Change the world. Unit 6-10 現代を探るUnit 11-13	生物に関する英文を問題意識を持って正確に早く読み解くことができる。語彙力増強を図る。文化に関するテーマの英文の内容を素早く把握することができる。リスニング・速読力を増強する	
		Change the world. Unit 11-15 現代を探るUnit 14-16	環境・国際社会・日常生活に関する英文を問題意識を持って正確に早く読み解くことができる。語彙力増強を図る。リスニング・速読力を増強する。	
10 月 5 月 12 月	2 学期 期末 考査	Change the world. Unit 12-18 現代を探るUnit 17-20	国際社会・動物・社会一般に関する英文を正確に早く読み解き、内容について自分なりの意見を論理的に展開することができる。 リスニング・速読力を増強。	28
		2学期中間考査		
		大学入試演習	問題演習を通じて、英語のリスニング・リーディング・ライティング・スピーキングのスキルを向上させる。また、英語の表現力や文法の理解を深める。	
		大学入試演習	問題演習を通じて、自分自身の英語力を客観的に確認することができる。間違えた問題や解答を見直し、改善点を見つけ出すことができる。また、問題演習を継続的に行うことで、自己管理や自己学習のスキルを身に付ける。	
12 月 5 月 3 月	学 年 末 考 査	大学入試演習	問題演習を通じて、英語の語彙や文法、読解力を反復的に使うことで、知識の定着を図る。問題を解く過程で、自分で調べたり考えたりすることで、より深い学習ができる。	40
		大学入試演習	問題演習を通じて、試験の形式や出題傾向を把握し、対策を練ることができる。	

評価の
観点・方法

定期考査のほか、日常的学習・課題の取り組み状況等もふまえ、総合的に評価する。

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	学年	3
担当者	中田淳子,牛嶋 園江,筒井玲衣子			単位数	2
使用教科書	VisionQuest English Expression II Ace(啓林館)				
使用教材	①Write to the Point(数研出版) ②Clues to Reading(数研出版)③Hyper Listening(桐原書店) ③The Reflex 英文法・語法問題集(桐原書店)④構文150標準問題演習(美誠社) ⑤CNN Worksheet(朝日出版社)⑥共通テストListening TRY/ Reading TACKLE				
教科・科目の指導目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、英文に書かれている情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	Write to the Point Lesson3 目的の表現 Clues to Reading 1 Write to the Point Lesson4 理由の表現 Clues to Reading 2 Write to the Point Lesson5 時制(1) Clues to Reading 3	～するための表現はto不定詞を使い、～しないようにの表現は、so that S will not Vを使うことを原則にするよう意識する。 ～の理由でとある場合に、reasonを用いずbecauseを用いて書く方が簡潔に表現できることが多いので、定着を図る。目的を表す～のためには区別することを注意する。 現在完了と過去形の表し方の違いは理解できているが、状況に応じての使い分けの必要があることを理解し、使い分けができるようにする。それぞれの品詞による語法やイディオムを覚える。	14
6月7月	1学期期末考査	Write to the Point Lesson6 時制(2) Lesson7 動詞の語法 Write to the Point Lesson8 関係詞 Clues to Reading 5～6 Write to the Point Lesson9 時間の表現 Clues to Reading 7～8	be going toとwillの使い分けに気を付ける。～しているを使う場合、習慣的行為か進行中の動作なのかを考えて、現在形と現在進行形のどちらを使うかを判断できるようになる。SVOCの動詞の語法を身につける。時制や倒置など文を構成する注意すべき用法を理解できるようにする。 関係代名詞と関係副詞の使い分け、whatとthatの使い分けができるようになる。関係詞には制限用法と非制限用法があり、違いを理解できるようにする。 時間の表現の～ぶりや～たてばはよく使うので覚える。By～までにはとunti～までずっとの使い分けに注意し活用できるようにする。	12
7月10月	2学期中間考査	共通テストリスニングTRY30 共通テストリーディングTACKLE 40 Write to the Point Lesson10 数字の表現 Lesson11 仮定・条件 Write to the Point Lesson12 仮定・条件の応用 Clues to Reading 10～11 Write to the Point Lesson13 比較の基本 Clues to Reading 12～13	双方向型の文章、資料の読み取りなど多様なテキストタイプの英文を読み、予定や時系列の整理、事実と意見の区別など、素早く正確に英文の概要や要点を捉える力、書かれた情報を整理する力を養成する。 数字の表現で冠詞や複数形のsの有無を含めて正確に覚える。～代や分数表現の表し方を定着させる。 英文を書く時には、現実か仮定かを見分ける必要があるが、間違えやすいので、注意して動詞の形を書くことを定着させる。 仮定を表す日本語を英文に直す時、定型表現を覚えて確実に活用できるようにする。 比較の構文を作る時、何と何を比較するかを見極め、比較されるものは原則同じ形になることを注意し、表現できるようにする。	18
10月	2学期期末	Write to the Point Lesson14 比較の応用 Clues to Reading 14～15 Write to the Point Lesson15 譲歩の表現 Lesson16 重要表現(1) Write to the Point Lesson18 Aは__だ	比較で使われる様々な表現を覚える。～すればするほど__するや倍数表現など使用頻度が高いものは確実に活用できるようにする。 たとえ～でも、どんなに～でも、いつ～してもは使用頻度が高い。表現の形を覚え、活用できるようにする。入試問題でもよく出題される語法やイディオムを中心に確認し、覚える。 日本語によって英語で表現する時は違う表現を使うものがあるので、英語では形が異なることを注意させ、慣れる。文法や構文などの項目ごとに学習してきた内容をランダム形式で問題を解き、更に	14

12 月	考 査			
12 月 5 3 月	学 年 末 考 査	共通テストリスニングTRY30 共通テストリーディングTACKLE 40 Write to the Point <small>リスニング リーディング</small> 共通テストリスニングTRY30 共通テストリーディングTACKLE 40 Write to the Point <small>リスニング リーディング</small>	双方向型の文章、資料の読み取りなど多様なテキストタイプの英文を読み、予定や時系列の整理、事実と意見の区別など、素早く正確に英文の概要や要点を捉える力、書かれた情報を整理する力を養 双方向型の文章、資料の読み取りなど多様なテキストタイプの英文を読み、予定や時系列の整理、事実と意見の区別など、素早く正確に英文の概要や要点を捉える力、書かれた情報を整理する力を養	20

評価の 観点・方法	
--------------	--

教科	外国語	科目	英語演習	学年	3
担当者	宮崎、牛嶋、工藤			単位数	2
使用教科書	Perspective English Communication III				
使用教材	Cutting Edge Orange 大学入試長文読解問題(エミール)				
教科・科目の指導目標	大学入試に必要な読解力、文法・語法の正確な知識及び表現力を身につける。 規定の時間内で大学入試問題を正確に解答できる実力をつける。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	主題:自然科学 主題:自然科学・健康 主題:小説(物語) 主題:人文・言語 主題:自然科学・人体	英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small>	14
6月7月	1学期期末考査	主題:自然科学・環境 主題:自然科学・宇宙 主題:人文・時事・IT 主題:自然科学・動物	英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small>	12
7月8月10月	2学期中間考査	主題:人文・時事・政治 主題:人文・時事・社会 主題:自然科学・AI・IT 主題:人文・時事・歴史 主題:人文・経済	英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small> 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 <small>英語力を強化する</small>	18
10月12月	2学期期末考査	主題:自然科学・IT・社会 主題:人文・社会・心理	英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。	14
12月1月3月	学年末考査	大学入試問題演習 大学入試問題演習	英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。	20

評価の
観点・方法

定期考査に加え、授業への参加状況、小テスト、提出物などで総合的に判断する。

教科		科目	総合的探究の時間	学年	3
担当者	渡辺・中田・八木・岸・田邊・佐藤			単位数	1
使用教科書					
使用教材	志望理由書 自作パワーポイント 自作プリント classi				
教科・科目の指導目標	進路活動を中心に、自ら課題を見付け、学び、考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力を育成する。将来の職業を含んだキャリアについて考えることを通して、学び方やものの考え方を身に付け、自己の在り方生き方を考えることができるようにする				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	進路・学習指導 学年集会 進路指導 生徒総会 役員選挙	志望理由書の下書き作成を通して、志望大学・学部を明確にし、自宅学習期間に計画的な学習を行っていく。 ①基本的な生活習慣を保つ②毎日学習を継続し、成果を積み上げる③「新しい生活様式」に従い行動する これらを学年全体で確認する。 調査書作成に必要な1, 2年生までの活動記録の整理を行う。 放送での生徒総会、役員選挙に主体的な態度で参加する。	7
6月5月7月	1学期期末考査	進路指導 進路・学習指導 進路・学習指導	進路ガイダンスを行い、受験までの心構えと日程概要を確認する。 共通テストで求められる科目について、必要な学力水準を確認する。 1学期の学習をふりかえり、夏季休業中の学習計画を立てる。	6
7月5月10月	2学期中間考査	進路・学習指導 進路・学習指導 進路・学習指導	夏季休業中の学習成果をまとめ、2学期の学習計画を立てる。 共通テストの受験手続と推薦入試に関する説明を通して、必要な受験情報を理解する。 進路希望の実現に向けて、必要となる学習を行う。	8
10月5月12月	2学期期末考査	進路・学習指導 進路・学習指導 進路指導 進路指導	2学期前半までの学習状況を確認し、今後の学習計画を考える。 進路希望の実現に向けて、必要となる学習を行う。 模擬試験の結果などを踏まえた個人面談を通して、志望大学・学部を具体的に絞り込んでいく。 模擬試験の結果などを踏まえた個人面談を通して、志望大学・学部を具体的に絞り込んでいく。	6
12月5月3月	学年末考査	進路指導 進路・学習指導 進路・学習指導	調査書発行に関する手続などを行い、共通テストまでの学習計画を立てる。 進路希望の実現に向けて、必要となる学習を行う。 共通テストの結果を踏まえ、今後学習すべき事項を確認する。	9

評価の
観点・方法